

# みなとまち新潟 歴史探訪②

問 歴史文化課

☎025-226-2584

## 日和山と新日和山

写真は、東堀通13番町にある現在の日和山です。江戸時代半ばまではこの付近に信濃川の河口(湊口)があり、日和山は新潟湊を見渡せる唯一の高台で、湊にとって重要な場所でした。

当時、多くの船でにぎわった新潟湊の水先案内人(水戸教)は、日和山に登って湊に出入りする船の見張りや、船の出帆に必要な日和見(空模様の観察)をしました。その後、土砂の堆積により日和山と湊口は徐々に離れ、水戸教の機能も湊口に移りましたが、町や湊を一望できる日和山は新潟名所としても人気でした。

ところが、明治13(1880)年の大火で日和山の船見櫓が焼失しました。そこで、当時の新潟区長の尽力などにより、翌年さらに海寄りの砂丘上に新たに船見櫓が建てられ、「新日和山」と呼ばれました(絵図)。新日和山は元の日和山より眺望が良く、新たな新潟名所となりました。多くの人々でにぎわった新日和山でしたが、その後進んだ海岸線の後退により、昭和20年ごろには海中に没することとなったのです。



中央区東堀通13番町にある  
日和山



明治14年「新潟港日和山真景」  
(部分 新潟市歴史博物館所蔵)